



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

G/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2016年9月No.412
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2016~2017)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『笑顔と感謝の1年に』 国際会長 : 『私たちの未来は、今日から始まる』 アジア地域会長 : 『ワイズ運動を尊重しよう』 西日本区理事 : 『ワイズ魂で、更なるワイズの活性化を!』 中西部部長 : 『世界をみつめ、地域とあゆむ』	会 長 : 藤井 大祐 副会長 : 何 早林 書 記 : 藤原 正巳 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 岡本 剛介 メネット会長 : 松浦 和子 Y連絡職員 : 船戸 輝久

Biblical Message of September

「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くことを、わたしたちは知っています」 (ローマの信徒への手紙 8章 28節)

「9月という月」

藤原 正巳

9月は私の大好きな月です。先ず私の誕生月であること。今年も傘寿の区切りの月でもあり、思いはひとしおです。

9月で最初に思い出されるのは歌です。私の大好きな Frank Sinatra が歌う "September Song" は、曲のみではなく歌詞も大変抒情的です。特に後段にある "Precious Few" という歌詞は、ニューヨーク在勤中、この表現を借用した文章を添削頂いた米国人女性秘書から、大変詩的な表現として、高く評価されたことを思い出します。

次に連想するのは食べ物です。アルファベットの「r」が入る月から「かき」が食べられるということで、来年の April 迄、私の食生活は喜びに溢れます。

最後に思い出されるのはベトナム戦争です。当時アメリカは徴兵制で、徴兵の順番は誕生日で決められていました。

最初に徴兵されたのは私の誕生日である9月14日生まれの若者でした。私がアメリカ人であれば、運命は大きく変わったかもしれません。

(次号は中村隆幸さんです)

September Club Meeting

『Menette』

9月第1例会

日 時 : 2016年9月21日(水) 18:45~20:45

場 所 : ホテルグランヴィア大阪

司会 : 坂本 千春 君

- 開会 藤井 大祐 会長
- 黙禱(故山村利子メネット) 松浦和子メネット
- ワイズソング 一同
- 聖句朗読 中村 茂高 君
- ゲスト・ビジター紹介 藤井 大祐 会長
- 今月の強調月間 松浦 和子メネット会長
- 晚餐 一同
- 卓話「今年度のメネット事業について」
澄川 菊代中西部メネット主査
- 連絡・報告・ニュース 各メンバーから
- 誕生祝い・ニコニコ献金 一同
- 閉会 藤井 大祐 会長

お誕生日 : 大村、藤原の各メン

※プレゼントは、中村幸枝メネットがご用意ください。

例会担当 : 3班=石津、岡本、隅田、谷川、松浦、三浦の各メン

9月第2例会

日時 : 2016年9月28日(水) 18:30~20:30

場所 : 土佐堀YMCA会館4階



【クラブ統計 Statistics】

8月		種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント		ニコニコ献金	
在籍会員	21名	メ	16名	9名	8月	Og	8月:	0円
例会出席	16名	ネ	6名	0名	現	金		
うちメーキャップ	0名	ジ	0名	0名	累	計		
出席率	76.1%	ス	6名	0名	切	手	204g	累計: 172,446円
		合	28名	9名	現	金	0円	ファミリーコンサート収益 125,712円
		計						ファンド累計 125,712円

使徒パウロはどんな苦しみあっても、その苦しみを別の観点から見つめることのできる能力が備わっていたようです。つまり、この世は最終的には神により完成を迎えるという「終末論的」な視点です。彼も最後は不遇の死を遂げますが、どんな苦しみ、悲しみ、絶望も、希望に変えるパウロの生き方に共感します。

(聖句選/コメント：中村茂高)
(次号は松浦孝次さんです)

8月第1例会(納涼例会)報告

と き：2016年8月17日(水) 18:30~20:30

ところ：ホテルグランヴィア大阪 20階

真夏の太陽が照りつける8月の例会は、なかのしまクラブとの合同納涼例会。総勢49名が参加しハワイアンムードあふれる例会となりました。

鳥居碧メン(なかのしま)の司会のもと、藤井大祐会長の開会点鐘で始められ、ハワイアン風に彩られた晩餐の後は、いよいよウクレレとフラタイム。芝田メン率いる「ハネリマカヒキ」ウクレレバンドが「カイマナヒラ」「アロハオエ」など数曲を演奏した後、植松正道さんの紹介、解説で「カフラオナホクオカモアナパキピカ」(YUKI佐々木先生)が、「ハワイアンウエディングソング」など優雅な踊りを披露してくれました。



軽やかなウクレレの音色が流れ・・・



≡≡≡≡ Club Activities August, 2016) ≡≡≡≡

1. August Joint summer dinner gathering

A total of 49 Y's men, Y's menettes, Y's ling and guests attended joint summer dinner of 2 clubs: Osaka Centennial and Osaka Nakanoshima, held at Hotel Granvia Osaka on August 17, 2016. Ms. Midori Torii of the Osaka Nakanoshima took the chair of the meeting. Mr. Daisuke Fujii of Osaka Centennial and Ms. Makiko Sugiura of Nakanoshima respectively introduced their members, Y's menettes, Y's ling and guests.

After the dinner, everyone enjoyed music performance by Centennial Ukulele Band who played famous Hawaiian songs and dear old Japanese songs with some vocalists.

We had also professional hula dance team led by Ms. Yuki Sasaki who showed a number of wonderful hula and our ukulele band accompanied to the team for 3 songs, "Kaimana Hila", "Aloha Oe" and "Sophisticated Hula".

Everybody was enchanted with the music and dance performances. Singing the YMCA song all together, this wonderful dinner gathering was closed.

2. IBC Triangle Gathering at the Taiwan International Convention

Following the last year's reunion in Kyoto, several members of our 3 IBC clubs, Hawaii Nuuanu Club, Hong Bauhinia Club and Osaka Centennial club, met again at the International Convention held in Taipei, Taiwan on August 4th to 7th, 2016. Those who attended were Mr. Maurice Shimonishi, president of Nuuanu Club, Ms. Edith Law, president of Bauhinia Club, Ms. Daisy Wong vice president of Bauhinia Club and Mr. Naoyuki Miura of Osaka Centennial. This was the first opportunity for all of them to meet together and they deepened their friendship, talking about their club activities and, etc.

This showed strong solidarity and friendship existing among our 3 IBC clubs and we are sure that this good relationship will continue in the years to come.



優雅に舞い・・・

フラの曲目を解説する植松正道さん

リオのオリンピックたけなわの8月17日(ワイズ例会の当日) JICA 海外研修者プログラムで、初めてポルトガル語での授業がありました。参加者はブラジルとモザンビークの一行。共通語はポルトガル語です。私の英文テキストもポルトガル語版が完成。しかし、ブラジルの6名の参加者はインテリの官僚たちで、英語を充分理解しました。一方、南東アフリカに位置するモザンビークは、昔のポルトガルの植民地で、旧称 Portuguese East Africa と呼ばれ、この人たちはポルトガル語の通訳を必要としました。モザンビークの経済は資源輸出依存の体質で、目下世界的資源安から経済は低迷しています。

南米に位置するブラジルは広大な国土をもち、やはり経済は石油、鉄鋼石などの資源輸出に依存。人口は2億人の大国です。これに対して資源のない日本は、これから人口減少社会を迎え、財政赤字から厳しい局面を迎えることを説明。当面、完全雇用の状態にあり、大学生はほぼ全員が就職にありつける状態である、との私の説明に対して、ブラジルは、その正反対で、その対極に位置している、との彼らの答え。ブラジルの平均失業率は11.3%で高止まりしており、オリンピックの大会中はいわゆる「特需」で一時雇用増加を見込めたが、パラリンピックが終わり「宴」の後には、問題山積である、との率直な意見が出ました。長引く資源安でブラジル経済は低迷しており、経済成長率は昨年マイナス3.8%。今年もマイナス成長が続く予想で、国家会計の不正疑惑から職務停止中のルセフ大統領の弾劾問題も大詰めを迎えます。南米で初めての五輪を成功させた多民族国家は、その余韻にひたるまもなく、これからも前途多難のようです。



手前がモザンビークの一行。奥がブラジルの研修員

8月第2例会報告

と き：8月24日(水) 18:30~20:30

ところ：大阪 YMCA 会館4F

出席者：石津、大村、岡本、中村茂、藤原、船戸、松浦、三浦、山中の各メン

〈クラブ活動〉

- ① チャリティーラン 9/22 鶴見緑地 2組出場(1組5人) 表コミ生徒、山中、山中メネット、中村茂 ボランティア=大村、三浦
- ② 10月例会 10/19(水) ホテルグランヴィア大阪 有馬温泉1泊旅行は中止。当日、ハワイ・ヌアヌクラブの Ms.Kathy Ahlo 夫妻出席可能性あり。
- ③ 関西いのちの電話 10/14 第21回チャリティーコンサート(大阪市中央公会堂)
- ④ 例会でのオークション提案
- ⑤ 次期会長は三浦メン内諾
- ⑥ プリテン印刷 経費の関係でモノクロを検討。

(第2例会議事録より抜粋)

YMCAニュース

☆第36回HH国際キャンプ無事終了

8/8(月)~13(土)の期間、六甲山YMCAを中心に開催され、無事に終了しました。

〈参加者からの声〉

「最初は手話もわからず、他の国の人とも交流できなかった自分が、リーダーをはじめ、ボランティアはもちろん、キャンパーから何度も声をかけられ、だんだんと心が開かれていき、プログラムを楽しめることができるようになった。今では、メールの交換もして、これからもずっと友達としてつながっていけるようになったことがうれしい」

☆全国YMCA ブランディングプロジェクト『ブランド・コンセプト』発表(中日本地区)

8月6日(土)に開催。ブランドコンセプトは、今後のYMCAのブランディングの土台となる大変重要なものです。大阪青年7・8月号および日本YMCA同盟機関紙『The YMCA』9月号に特集されていますので、ぜひご覧ください。(The YMCA 9月号ダウンロード)

http://www.ymcajapan.org/newsletter/pdf/2016_09.pdf

【開催のお知らせ】

☆第281回 早天祈祷会

日時…2016年9月16日(金)7:30~8:30

証し…小寺規久子さん(大阪YMCA中高齢者事業スタッフ)

場所…大阪YMCA会館10階チャペル

☆2016チャリティーランへのご支援のお願い

9月22日開催のチャリティーランへのご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。引き続き、以下のご支援をお願いいたします。

- ① 寄付によるご支援、② 抽選券購入によるご支援、③ オリジナルTシャツ購入によるご支援

<http://www.osakaymca-action.org/Events/OsakaYMCA-International-charityrun/2016/sponsor.html>

船戸 輝久



華やかに彩り・・・



清らかな祈りをこめて・・・



厳粛な空気がただよう・・・

ハワイの魅力（ハワイの自然）

Aloha

“ハワイ”、日本人にはなんて魅力的な響きを持った言葉でしょう。過ってテレビのクイズ番組の商品として“夢の島”とうたわれていたハワイ。日本人の多くがハワイに行くことが出来る様になった現在でも、日本人にとってハワイはやはり夢の島ではないでしょうか。リピーターが多いのもハワイです。ハワイの心地よい風が脳を刺激して気分を良くする物質を放出し、中毒症状にするから何度もハワイに行きたくなるなんて話もあります。

ハワイ語では“HAWAII”にはこんな意味があるそうです。HA=息、生命 WAI=水、I=在る場所。水がありそこに生命が息づくところ、それがハワイです。ではハワイの魅力とはなんででしょう。ワイキキでのショッピングや食事でもハワイの魅力です。しかしハワイの本当の魅力はハワイの自然に浸ることではないでしょうか。

先日ハワイ島ヒロの町のホテルに泊まりました。ワイキキではホテルの部屋で夜に寝ていると大音量の音楽や若者が騒ぐ声、車の騒音や時にはパトカーのサイレン等が聞こえてきます。しかし、ハワイ島ヒロの町のホテルの部屋で夜に聞こえてくるのはカエルの合唱です。日本のカエルの低いグログロと言う声ではなく、小鳥がさえずるような心地よい声です。心地よいカエルの合唱を聞きながら眠りにつきます。そしてそのカエルの声は、夜が明けると小鳥の鳴き声にかわります。身支度をして早朝にホテルの部屋を抜け出し、ホテルの周辺を散策します。ホテルから外へ出て聞こえてくるのは鳥の声だけです。その朝は晴れていました。ホテルの庭を散策中、ふと見上げると朝日に照らされてピンク色に輝く4, 205mのマウナケア山が目の前に現れました。

さあ、これからハワイに行こうとされている方は是非ハワイの自然に触れる旅は如何でしょうか。Mahalo.

植松 正道



後 記

台風の日を迎え、すっかり夏から秋への移り変わりを感じるこのごろです。リオのオリンピックで、日本人の41のメダルを獲得した快挙も、いつの間にか話題から遠ざかってしまったような気がしますが、引き続きパラリンピックが始まりました。

「ハワイアン合同納涼例会」は、この夏の象徴的なハイライトで、私たちのクラブにとって、「ハワイ」は特別な存在であることを実感しました。

S.N